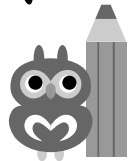


# 計量士の今を知る

## 計量士アンケート

### 〈集計と傾向〉



計量士が今、どんなことに関心があるのか、また現在の計量士業務の実態等を紹介するために、各地域の現役計量士に対し、アンケートを実施した。7月から8月末までの2カ月間、東京、大阪、名古屋など一部の都市の計量協会や計量士会を通して配布。主に、一般計量士から回答を得ている。

本号では、今年の夏に順次掲載していた回答を集計し、意見を抜粋して、その傾向をまとめた。

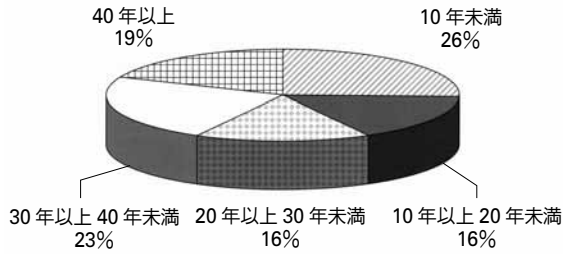
#### 質問事項

- 【氏名(匿名可) / 計量士登録後の年数】  
 (1) 計量士の業務として行っていること(○をつけてください)(複数回答可)。  
 (2) 現在、計量士の業務と関連して関心がある事柄はありますか。  
 (3) 計量士会に所属していますか。そのメリットは何だと思いますか。  
 (4) こんな研修会を開催してほしいという具体的な希望はありますか。希望する内容に○をつけてください。(複数回答可)

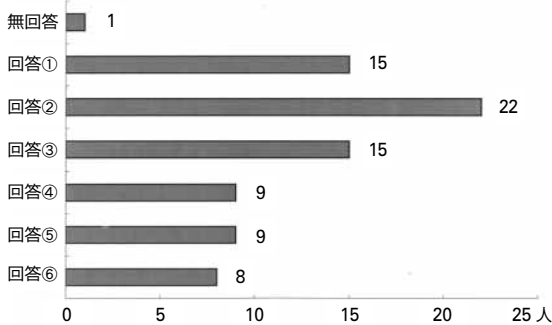
- ①不確かさ / ②ISO 10012 / ③検査技術 / ④計量法 / ⑤その他  
 (5) 最近、ISOやHACCPの認証工場が増えるなど、国際的に品質管理の要求が高まっていますが、一般計量士の活躍の場は以前に比べて増えていると感じますか。  
 (6) ISOやHACCP関係以外で、これまでにはなかった新しい分野にも計量士の活躍の場はあると思いますか。  
 (7) 仕事をしている地域では、指定定期検査機関制度がうまく機能していると思いますか。  
 (8) 計量士資格の制度のあり方(更新制にすべきか等)について、見直しの必要があると思いますか。  
 (9) 計量計測について、普段お考えのことがあれば自由にお書き下さい。  
 (10) 趣味や休日の過ごし方など、差し支えない範囲でお聞かせください。

### 1 登録年数と業務の内容は?

計量士登録後の年数



計量士の業務として行っていること



◇回答6: その他

【教育・啓発】研修センター講師/計量行政(指導) / 計量思想の普及啓発 / 計量方法の改善 / ISO17025の審査および講演、ISO10012の講演

【団体運営】計量団体の管理・運営

【その他】電気機器製造業の社員計量士

【計量士の業務に携わっていない】地方自治体職員などの個人としての計量士の業務はない / 計量士業務はしていない

①製造業・流通業での点検・管理(指定定期検査機関での業務を含む) 15人 / ②適正計量事業所での点検・管理 22人 / ③代検査 15人 / ④計量管理についての指導・コンサルティング 9人 / ⑤研修会などの講師 9人 / ⑥その他 8人

### 2 計量士の業務と関連して関心のあることは?

業務と関連して関心のある事柄があるという回答が圧倒的に多いが、具体的な内容は回答者によってさまざまである。ここでは代表的な回答を掲載する。業務と関連して関心のある事柄があるかは77% / いいえ19% / 回答なし2% / 不明2%

- 【高齢化、世代交代と若手の教育】
- ▽計量行政機関を定年退職後に計量士になる人材の減少、および計量士などの高齢化。
- ▽計量士人材育成。若い計量士の育成が必要である。しかし協会の予算は厳しく、十分な給料が支払われない。
- 【雇用】
- ▽行政機関定年後の計量士としての再就職の場(計量技術者の活用)。
- ▽計量士国家試験に合格した若者が計量の実務に就いていない。

【不確かさ】(2人)

【ISO関係】

▽ISO 10012 (6人)、ISO 17025 (2人)、ISO 9000 (2人)、ISO 9000

【JCS関係】(2人)

▽品質管理・検査・校正度とISO 10012との関連

▽自動車産業等のリコール多発防止

【計量法・計量行政】

▽医薬品製造などにおけるバリデーションの前提としてのキャリアプルーシオン

【計量士の地位・待遇】

▽社内外での計量士の地位向上

- ▽システムづくり
- ▽工程管理を含めた品質管理業務およびマネージメント
- 【適正計量事業所】
- ▽適正計量事業所制度とISO 10012との関連
- 【計量法・計量行政】
- ▽計量器検定検査規則の改定内容
- ▽新型式承認
- 【その他】
- ▽スマートグリッドが計量法に与える影響

### 3 計量士会所属のメリットは?

今回の回答者は、9割弱が計量士会に所属している。感じているメリットとしては、多くが交流や情報収集をあげた。

計量士会に所属しているかは88% / いいえ12%

【交流・情報収集】

▽計量士間の情報交換

▽標準と計量管理『計(懇親)』

【自己研鑽】

▽計量士の業務拡大

▽講演依頼等

【計量士の義務】

▽計量士としての義務

▽計量士の団体による信力力の確保

▽行政などへの意見反映

【雇用】

▽計量士の業務拡大

▽講演依頼等

【計量士の義務】

▽計量士としての義務

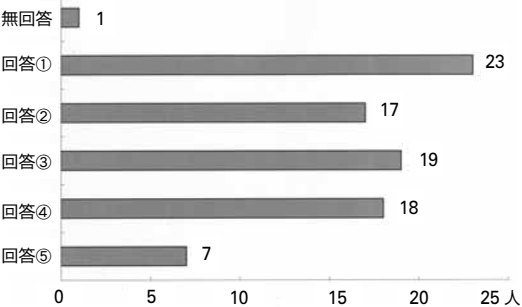
▽計量士の団体による信力力の確保

▽行政などへの意見反映

【雇用】

### 4 こんな研修会を開催してほしい

こんな研修会を開催してほしい



◇回答5: その他

▽OIML 国際勧告の最新情報など、新しい動向

▽適正計量事業所のメリット

▽ (自主計量管理のすすめ) =最近キャリアレーションについて社外に丸投げの方向にあるが、本来的には実験者、作業者が自ら機器、機械類の性能を見極めて作業、実験をするのが本質だと思う

▽計量器・計測器の最新情報

▽OIMLでの自動はかりの動向

▽相手にその気を起こさせる話し方

▽理科、数学と計量のコラボで興味をもたせる

①不確かさ 23人 / ②ISO 10012 17人 / ③検査技術 19人 / ④計量法 18人 / ⑤その他 7人

### 5 一般計量士の活躍の場は増えているか

「どちらともいえない」に答えていても、否定的な理由を述べている人が多いので、実質的には「増えている」と感じている計量士が多いようだ。

◇「はい」の理由  
が見られる。

▽トレーサビリティの普及  
▽新しい計量・計測の考  
え方、改善方法の導入が  
必要になっている。

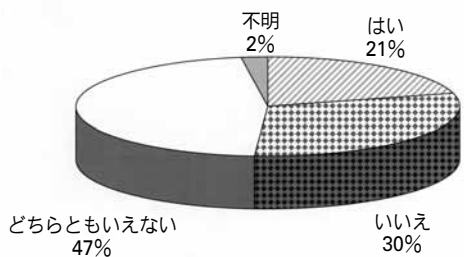
▽計量のトレーサビリティが重要と考えられる  
▽企業の人員削減で、自  
前社員でなくても外部人  
材でもよいという風潮が  
ある。

▽困窮世代の退職で品  
質・品証能力維持の低下  
ある。

▽食品工場(青果、魚介、菓子工場)における計量器の校正依頼の増加。  
▽規程の制定、検査標準書など必要性が大になってきている。  
▽測定の必要性を求められるから。

▽計量士や計量団体のアプローチが不足しているためだと思つた。

計量士の活躍の場は増えているか



【社会的地位の低下】  
▽ユーザからの要求も低下、役割のあいまいさ  
▽特定計量器が増えているように感じられないため。ISOに計量士が絶対必要とされているわけではないため。  
▽社会的地位が低下する傾向にある。

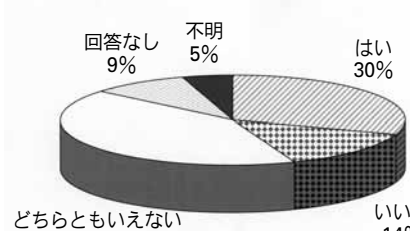
### 6 新しい活躍の場はあるか

「はい」と答えた計量士は、新しい分野として社会でも関心の高まっている「環境」を挙げる人が多かった。また「教育」や「企業サポート」なども。

▽断熱効果(省エネ)の計算・評価  
▽防音・防振効果の評価  
▽温暖化防止活動における

▽環境計量分野(ただし環境計量士)  
▽教育・相談  
▽ひと頃の「ゆとり教育」

新しい分野に活躍の場はあるか



▽現状チェックの対応でなく、職場で改善・顧客指向の業務改善の相談

▽教育、中小企業のサポート

### 7 指定定期検査機関制度はうまく機能しているか

「はい」の理由  
は問題が少ないと聞いている。

▽計量士間の連携がある。

▽地方は別として、東京にあるが、現状においては比較的うまく機能している。

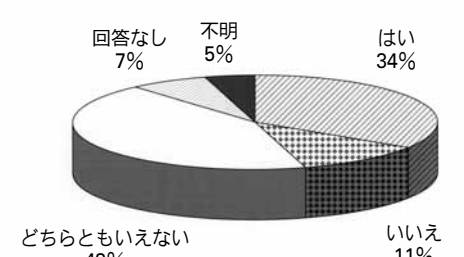
▽計量士会の機能が低下しているのか。一部の業者が独占しているのかな。

▽計量士の代検査業務を奪つた。

▽指定定期検査機関は、検査費を県・市からの補償で賄っている。

▽継続実施のための、経済的、人的な展望が不明。

指定定期検査機関制度は機能しているか



【社会的地位の低下】  
▽ユーザからの要求も低下、役割のあいまいさ  
▽特定計量器が増えているように感じられないため。ISOに計量士が絶対必要とされているわけではないため。  
▽社会的地位が低下する傾向にある。

### 8 計量士資格制度に見直すべき点はあるか

「はい」の答えて最も多かったのが更新制度導入。ただし、制度の中身や位置づけなどは回答者によってさまざま。実態把握や能力維持を挙げた人も。

【更新制度】  
▽更新制を導入(3人) 修会定期開催の実施。そのための更新講習などを行う。更新講習も更新制導入の目的とする。

▽資格の再評価を目的とする。更新講習も更新制導入の目的とする。

▽更新制にして、その時に求められる能力の社会的維持・向上を図る。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

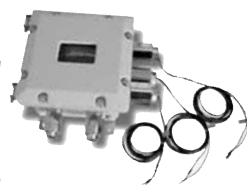
▽社会情勢の変化に合わせ、計量士も最新法動して、対応の参考にする。

おかげさまで60周年を迎えます

SINCE 1950

ドラムコンテナ併用充填機

耐圧防爆型 PLC・ファイバーセンサー



の分野の能力が殺がれる可能性がでてくる。幅広い能力を維持できるシステムが必要。

【協会等への入会】  
▽個人計量士を会に加入させ、計量情報を提供(任意)。

【社会への浸透・待遇の明確化】  
▽計量士という資格が存在しているが、待遇が曖昧なため、若手が活躍する面がない。

【その他】  
▽適正計量管理事業所の適正計量主任者があ

▽適正計量管理事業所の適正計量主任者があ

▽適正計量管理事業所の適正計量主任者があ

▽適正計量管理事業所の適正計量主任者があ

▽適正計量管理事業所の適正計量主任者があ

▽適正計量管理事業所の適正計量主任者があ

▽適正計量管理事業所の適正計量主任者があ

(◎面から)

# 計量士アンケート

## 〈集計と傾向〉

### 9 計量計測について普段考え ていること

▽検査は単なる手段であり、結果をどのように活用するか。結果の活用でそれを活用すること。かし方についての啓発が少ない。

▽適正計量管理事業所数や計量協会会員拡大につながる適管であること。

▽不確かさの手法を単純な形にしてほしい(理論) ↓大衆化。

▽計量計測は産業の基礎であるだけに、日本の仕組みがグローバル化に乗らよと思う。

▽企業内では、一般計量器遅れば機能しなくなる。グローバル化の視点から議論する。

から議論をさらに拡大し、深めるべきであると思う。

▽企業で定年を迎えた時は、ホッとしてのんびりできると思つた。しかし、日が経つにつれて、社会から取り残されているような感じに襲われた。計量士会に入会し、計量士会を通じて社会に少しでも貢献できるのかと思ひ、心が落ち着いた日々になつた気がする。

▽計量法に縛られるものと、その他(ISO、HACCAP、JIS)の規格など、対応が異なるため(例・不確かさなど)、別々に考えなければならぬ。

▽最近、計量器の検査にない。

▽最近の若い計量士の話などを聞くと、基礎の知識等が欠けているような気がする。

▽計量法に縛られるものと、その他(ISO、HACCAP、JIS)の規格など、対応が異なるため(例・不確かさなど)、別々に考えなければならぬ。

▽計量法に縛られるものと、その他(ISO、HACCAP、JIS)の規格など、対応が異なるため(例・不確かさなど)、別々に考えなければならぬ。

### 10 計量士の休日

▽検査は単なる手段であり、結果をどのように活用するか。結果の活用でそれを活用すること。かし方についての啓発が少ない。

▽適正計量管理事業所数や計量協会会員拡大につながる適管であること。

▽不確かさの手法を単純な形にしてほしい(理論) ↓大衆化。

▽計量計測は産業の基礎であるだけに、日本の仕組みがグローバル化に乗らよと思う。

▽企業内では、一般計量器遅れば機能しなくなる。グローバル化の視点から議論する。

▽20〜30年前のタイミングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

▽健康維持のためジョギングを毎日している。

## アンケート募集

2011年2月頃より第2回計量士アンケート特集を開始予定のため、引き続き回答を募集いたします。回答者には、掲載紙を呈呈。

【回答方法】(1)計量計測データバンクの専用ページの質問項目をダウンロードし、記入してFAX。(2)日本で計量新報社に電話またはFAXで問い合わせ(折り返し回答用紙をFAX)。

【問い合わせ先】日本計量新報社(担当大橋、石川) = 電話 03-3295-7871、FAX 03-3295-7874、電子メール edit@keiryoku-keisoku.jp

【専用ページ】  
<http://www.keiryoku-keisoku.co.jp/keiryoushi2010.html>

(おわり)